

本の雑誌社特別顧問の目黒さんが、笹塚から自宅へと移られてはや半年。「今でも自炊しているの?」「どんな格好で仕事しているのか知りたい!」という皆さんの期待に応え、本のちらしスタツフが潜入してきました。

目黒さんへのインタビューに写真
および見取り図を添え『笹塚日記』
のその後を徹底図解します。

—— 笹塚からこちらに移られて半年が経ったわけですが、仕事の上で何か変化を感じた点がありますか？

目　あまりないなあ。パソコンがあ

れるから早く寝たけど、最近はあるから早く寝たけど、最近はおかしくなってきたかな、昼に居眠りするようになったのでまた夜型に戻りつつありますね。ソファがないから泊まりがけになったりする事はないけど、イスに座りながらうとうとするとか。

なるほど。冬は寒かったけど。夏は快適です。夜までいられる。今の仕事場は完全に仕事だけのスペースとして使われている訳ですね。仕事場で寝泊りすることは無いということですが、そうなると生活スタイルには大きな変化があつたんじゃないでしょうか。

目うん。たとえば服装だけでも、ここに来てからは今までで一番ちゃんとした服装をしています。そういう事を言うと同じやあ笹塚ではどうだったんだって言われそうだけど。本の雑誌社にいた頃にはそこで寝泊まりしてたからスウェットが一番楽なんです。でもここだと自宅から五分だから来るまでにご近所さんに会った時みつともない格好していたら恥ず

れば原稿は打てるし、本があれば書評はできるからね。ただ、新刊を買うとなると近所の町田の本屋はちよつと不便なんですよ。なぜかというところちの本屋は新刊が並ぶのが都心よりちよつと遅いから。あと、ラジオの仕事で新宿に出るのに、今までより早く家を出なければならぬのがちよつとつらい。違いがあるとすればそれくらいかな。生活の場としてはどうですか。

目 いや、ここでは仕事し
てないんですよ。家から歩いて
五分しかかからないので、ゴハ
ン食べるのも夜寝るのも家で。
実際見てもらえばわかるけどこっ
ちにはソファも置いてないので、横
になって寝るといっわけにもい
かないわ。

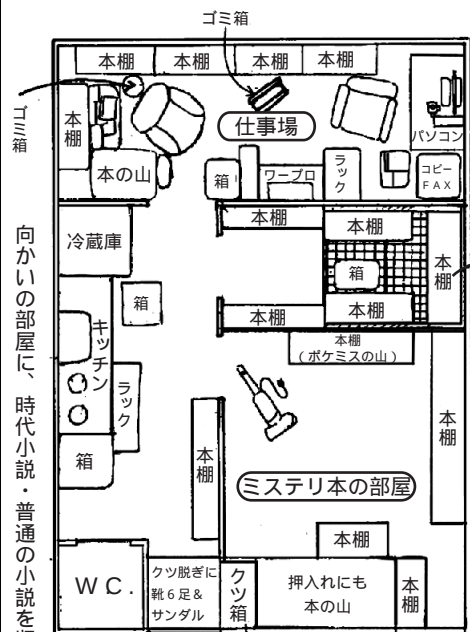
——— そうですか。すると、『何もな
日々』で昼型の生活になったと書か
れていましたが、今でもその生活が
続いているのでしょうか。

目 こっちに来て最初の三ヶ月はそうだったけど、だんだん変わってきた。そもそも朝ご飯食べて仕事場に来て、お昼を食べに戻ってまた来て、夜を食べたあとまたこっちに来るとなると自宅と仕事場を三往復もしなけりやなくなる。三往復ですよ。それで仕事場は寒いし疲

仕事場入口付近の本棚。



風呂場を潰して作ったという新書庫。奥の壁がタイル張りのままなのがお分かり頂けるだろうか。



向かいの部屋に、時代小説・普通の小説を収納している。

→目黒さんは
CROCS（黒）の
サンダルを履いている！

